事例No.	2408
公表年度	R5
団体の属性	町村
団体名	山形県川西町

事例区分	DX

タグ	・福祉・介護 ・ICT ・地域運営組織

事例種類	プラットフォーム開発

事例内容・タイトル

誰ひとり取り残さない支えあいの地域づくり事業

出典

総務省ホームページ

誰ひとり取り残さない支えあいの地域づくり事業（山形県川西町吉島地区）

R4.11時点

【事業背景】

〇高齢化等による移動支援対象者の増加や支援する人材の不足などが課題。
〇デジタル化による住民同士の相互補完環境の整備をめざす。

【事業実施主体】
きらりよしじまネットワーク
【R3交付金活用額】11,085千円

【取組内容】

【令和3年度に実施した主な事業】
〇買い物支援など既存の6つのコンテンツをプラットフォーム化（きらりよろずねっと）とともに支え合い人材研修会を実施。
〇電動シニアカー3台を無料貸し出し、地域住民の移動支援を試験的に実施。
〇災害対応の備品を整備するとともに、地域づくりにつながるワークショップを開催。

（きらりよろずねっと）



（シニアカーで外出や買い物移動）



（ワークショップの様子）



【成果（令和3年度）】
〇プラットフォーム化したことにより、住民がどの端末からでもアクセスが可能となり利便性が向上した。
〇一つのコンテンツでは、慶應義塾大学の看護医療学部の学生が関わり、専門的知見による健康情報が学生からのアプローチで楽しく個性あるものとして定期的に発信されており、より興味が持てるものに改善された。
〇マッチング人材育成の研修会を児童、自治会長、ボランティアを対象にそれぞれ行い、互助、共助意識の醸成につながった。
〇外出やちょっとした移動に電動シニアカーを活用でき、移動に支障をきたしている住民の助けとなった。
〇1泊2日で総勢24名がワークショップに参加し、実際に事業提案が出るなど地元住民の意識向上につながった。

【令和4年度実施予定の取組】
〇ICTを活用して都市部の学生等の若者と地域の若者によるワーキングチーム30名で農都交流などのイベントを実施。
〇コミュニティスクールと連携しICTを活用したこどもの学びのコンテンツ（地域の歴史、暮らし、産業）を制作。
〇女性向けの農村での暮らし方・働き方の研修を実施。